朱印船貿易と東南アジアの日本町

鎖国の前、日本の人々はどこまで出かけ、何を取り引きしていたのか



朱印船とは

幕府が、海外へ渡ることを許す証明書（朱印状）を与えた船。大名や、長崎・京都・堺などの商人が船を出した。

取り引きした物

日本から運んだ	銀・銅など
持ち帰った	生糸・絹織物・鹿皮など

銀は、日本から運び出した主な品だった。

日本町

東南アジアの港町に、日本から渡った人々が住む町（日本町）ができた。
渡航の禁止の後は、しだいにおとろえた。



※ 航路と日本町の位置は模式で、正確な航路ではない。地名は今の呼び方。陸地は今の海岸線で、今の国境は描いていない。